

三重県地域少子化対策強化計画

～みえ出^で逢いたい・産みたい・育てたいスイッチ～

平成 26 年 2 月

三 重 県

目 次

1 はじめに	1
2 三重県の少子化対策のめざすべき姿	2
3 計画の期間と計画の位置づけ	2
4 少子化等の背景	3
5 課題と現場のニーズ・取組概要等	6
6 推進体制	27
7 県内市町との連携について	27
8 事業費一覧	28
9 事業の目的・目標・効果について	29

1 はじめに

「みえ県民意識調査」の結果によると、県民の幸福感は、未婚者より既婚者が高く、既婚者では子どもがいる方が高く、さらに子どもの数が多いほど高くなっています。しかし、同調査において、理想の子どもの数が2.5人に対し、実際の子どもの数は1.7人ととどまっていることや、全国的な調査¹では未婚者の約9割が将来結婚する意思があると答えるなど、理想と現実のギャップが生じており²、様々な事情により結婚や子どもを持つことについて希望が叶わない現実があります。このギャップの要因となっている課題を解消し、県民の幸福実感を高めていくことが求められています。

一方、少子化の進展は、我が国の社会経済システムや地域のあり方に大きな影響を及ぼす社会的課題です。平成2年の「1.57ショック」を契機に、国は子どもを産み育てやすい環境づくりに向けての対策の検討を始め、現在の少子化対策に至っているところですが、我が国の少子化に歯止めがかかるとなく、20年以上の年月が経過したところでは、20年かけてようやく成果がでるといわれている少子化対策において、今、抜本的な対策の強化をやらなければ手遅れになってしまうとの危機感があります。

また、全国知事会においても、はじめて少子化対策に関する議論がなされ、全国的な動きにもなっています。

このような今だからこそ、本県では、県民の方が結婚や出産・子育てに希望がもてる三重をめざして、少子化対策に関する取組を推進していきます。

1 国立社会保障・人口問題研究所「第14回出生動向調査（独身者調査）」（平成23年11月）
2 第2回「みえ県民意識調査」（平成25年1月～2月）

本計画は、三重県が今後新たに取り組もうとしている少子化対策に関する事業で、平成26年度予算（新規・拡充等）案及び平成25年度補正予算案を財源とする事業をまとめたものであるとともに、国の地域少子化対策強化交付金交付要領に基づく事業計画として位置づけています。

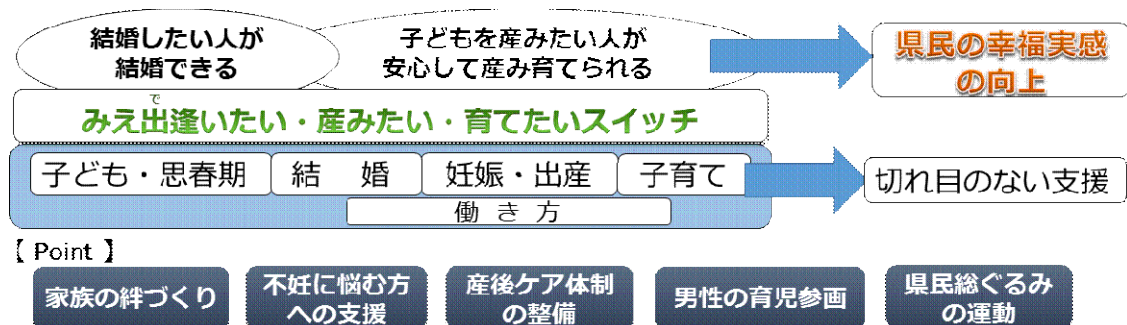
今後、県議会での予算審議、国との協議等を踏まえて、修正する可能性があります。

2 三重県の少子化対策のめざすべき姿

本県では、「結婚したい人が結婚でき」、「子どもを産みたい人が安心して産み育てられる」ように取り組み、県民の幸福実感を高めていくことを少子化対策のめざすべき姿としています。

特に、県民の方が結婚や出産・子育てに希望がもてる三重、「みえ出逢いたい・産みたい・育てたいスイッチ」をキャッチフレーズとして、ライフステージに応じた課題と現場のニーズ等を、「地方目線」、「当事者目線」にて洗い出し、これまで行ってきた「家族の絆づくり」、「不妊に悩む方への理解」などの取組を強化するほか、「産後ケア体制の整備」や「男性の育児参画」、「県民総ぐるみの運動」などの新たにポイントとなる取組を加えて、切れ目のない支援を行うこととしています。

【少子化対策推進のイメージ図】



3 計画の期間と計画の位置づけ

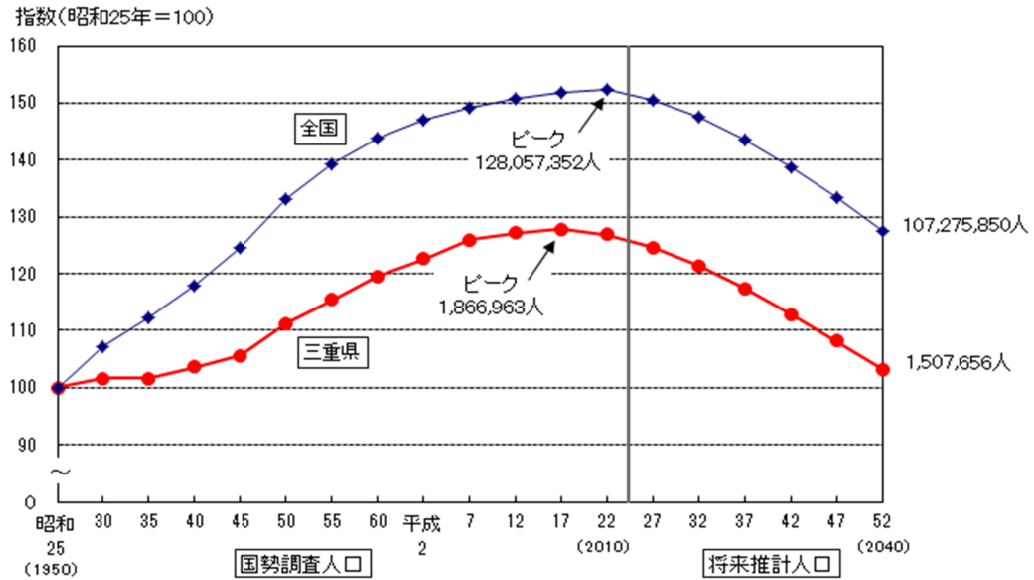
国の地域少子化対策強化交付金の交付決定の日から平成26年度末までの期間を対象として定めるものとします。

なお、本計画は、三重県が今後新たに取り組もうとしている少子化対策に関する事業で、平成26年度予算（新規・拡充等）及び平成25年度補正予算要求中の事業をまとめたものであるとともに、国の地域少子化対策強化交付金交付要領に基づく事業計画として位置づけています。

4 少子化等の背景

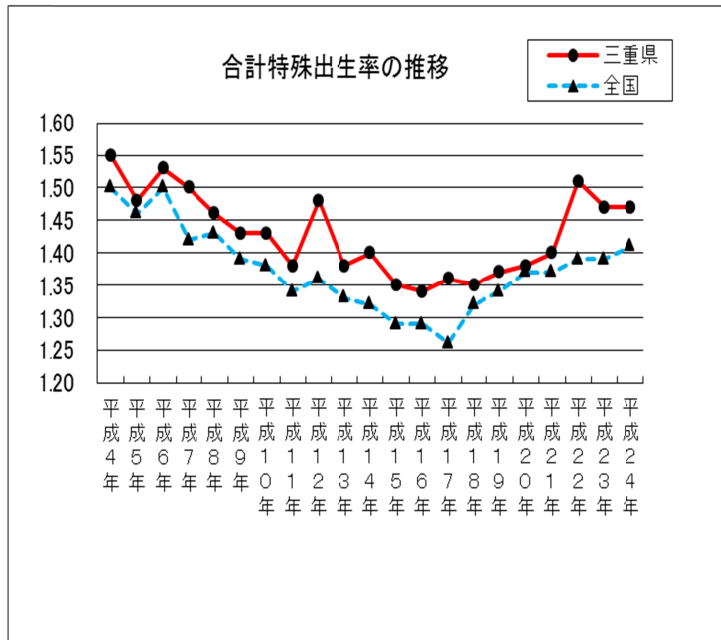
国立社会保障・人口問題研究所が平成 25 年 3 月に発表した「日本の地域別将来推計人口」によると、三重県の人口は平成 22 年の 185 万 5 千人から平成 52 年には 150 万 8 千人になる見込みです。

【国と三重県の総人口の推移】



【グラフは三重県調査による】

三重県の合計特殊出生率は平成 16 年の 1.34 を最低値として、その後、増加傾向にあり、また、全国平均を上回って推移していますが、未だ人口置換水準である 2.1 の回復には遠く及ばず平成 24 年で 1.47 となっています。



	三重県	全国
平成4年	1.55	1.50
平成5年	1.48	1.46
平成6年	1.53	1.50
平成7年	1.50	1.42
平成8年	1.46	1.43
平成9年	1.43	1.39
平成10年	1.43	1.38
平成11年	1.38	1.34
平成12年	1.48	1.36
平成13年	1.38	1.33
平成14年	1.40	1.32
平成15年	1.35	1.29
平成16年	1.34	1.29
平成17年	1.36	1.26
平成18年	1.35	1.32
平成19年	1.37	1.34
平成20年	1.38	1.37
平成21年	1.40	1.37
平成22年	1.51	1.39
平成23年	1.47	1.39
平成24年	1.47	1.41

出典：厚生省人口動態統計

出生数は 減少傾向が継続しており、男女の平均初婚年齢や出生児の母の年齢についても、全国平均よりは低いものの、年々高くなってきています。

【出生数】

(単位：人)

	2000年	順位	2005年	順位	2010年	順位
全国	1,190,547		1,062,530		1,071,304	
三重県	17,726	11	15,345	24	15,262	19

順位は人口1万人当たりでの比較

出典：厚生労働省人口動態統計年報

【平均初婚年齢】

		2000年	順位	2005年	順位	2010年	順位
全国	男	28.8歳		29.8歳		30.5歳	
三重県		28.3歳	17	29.2歳	16	30.0歳	15
全国	女	27.0歳		28.0歳		28.8歳	
三重県		26.5歳	9	27.5歳	17	28.2歳	4

出典：厚生労働省人口動態統計年報

【出生児の母の平均年齢】

	2000年			2004年			2009年		
	全国	三重県	順位	全国	三重県	順位	全国	三重県	順位
総数	29.6歳	29.1歳	6	30.2歳	29.8歳	19	31.0歳	30.7歳	27
第1子	28.0歳	27.6歳	21	28.9歳	28.4歳	22	29.7歳	29.3歳	28
第2子	30.4歳	29.9歳	13	30.9歳	30.5歳	22	31.7歳	31.5歳	30
第3子	32.3歳	32.1歳	13	32.6歳	32.4歳	18	33.1歳	32.9歳	25

出典：厚生労働省人口動態統計年報

次に、本県で実施した「第2回みえ県民意識調査」(平成25年1~2月実施)によると、子どもの有無別に幸福感の平均値を見たところ、未婚で子どもがいない層が5.71点、有配偶で子どもがいない層が6.65点、有配偶で子どもがいる層が6.95点となっており、有配偶の方が未婚より幸福感が高く、有配偶では子どもがいる層の方がいない層より幸福感が高い傾向があります。また、有配偶で子どもがいる層の中でも、就学前の子どもがいる層と小中学生のいる層は一層幸福感が高く、それぞれの平均値は7.58点、7.10点となっています。